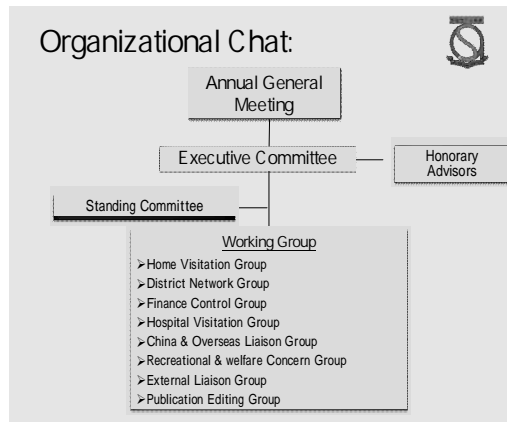


第6回 AOA 東京大会  
オストミー国情報告 抄録(第2回)

香港オストミー協会 (HKSA)  
Mr. Yio Chi Kin

皆様、おはようございます。香港オストミー協会からのご報告を申し上げます。当協会は自助団体で、香港におけるセルフヘルプの患者団体として初めて確立されたもので1979年に設立されました。したがって、すでに29年の歴史を有しております。私共の協会は、非営利団体として登録されています。協会の名誉顧問のなかには異なった分野の専門家の方が含まれています。医師、看護師、ソーシャルワーカー、そして弁護士、会計士といった方々でいらっしやいます。

当協会の目的は会員間での相互支援を提供することです。また、会員の間で経験を分かち合い共有化し、また、このストーマのケアに関する情報を交換することです。また、ストーマ造設の後にオストメイトがノーマルな生活を出来るよう指導していくということです。



こちらに書かれておりますのは、私共の

組織図です。協会の活動をご紹介申し上げますと、病院あるいは家庭訪問、ストーマクリニック及び病院の病棟の紹介、オリエンテーションのプログラム(新しいストーマ造設をしたオストメイトに対するオリエンテーション)、社会的なプログラムであるとかレクリエーションのプログラム、ストーマケアに関するワークショップを開き、質問等に対する問合わせに答えるサービス、興味のあるテーマを取り上げたクラスの開設、ボランティアの方たちのトレーニング、カウンセリング及び奨励管理ケースマネジメント、講習ならびに冊子などの発行ということです。

病院及び家庭への訪問について最初の活動から説明していきます。この病院訪問や家庭訪問によりまして、新たにストーマ造設をされたオストメイトに対して適切なケアを提供し、その懸案に対処するということです。そして適切なサービスを提供する。

Hospital Visitation	2007 - 2008
Visited Hospital	9
Ward Visited	109 Times
Visited Patient at Ward	596 Patients
Clinic Visited	109 Times
Visited Patient at Clinic	1123 Patients
Home Visitation	2007 - 2008
Home Visited	115 Times
Visited Patient	893 Patients

9つの病院とプログラムと一緒にやっています。心理社会的なりハビリをするための必要な活動を、病院等と協力してサービスを提供しております。

こちらにありますのは、家庭訪問と病院訪問に関しての実績を数字で示したものです。こちらは新しいメンバー向けのサービスの表です。こちらは地域におけるネット

ワーキング交流のプロジェクトの実施した回数を示したものです。回数並びに参加者の数を示したものです。こちらは社会社交的な、またリクエーション関連のプログラムの実態を示したものです。参加したオストメイトの数を右側に示しています。

これは他の団体との障害活動ということです。目的としましては権利擁護ということです。アドボカシーです。保健ヘルスケアの政策に向けて、その内容に関して権利擁護をしていくこと、そして関連した活動を他の団体と協力して遂行するということです。他の自助団体と協力して、関連した問題には共に手を携えて対処していきます。

中国も訪問いたしましたし、また他の海外にも連絡等をとってコミュニケーションしています。中国を訪問して経験を分かち合うということをボランティアと共にしております。

China and Oversea Liaison: Yun Nan Study and Sharing Tour



こちらは広州で行われたプログラム、そして広州のストーマ協会並びに四川のオストメイトの方や看護師の方との交流を遂行しました。こちらは写真ですが、そのような交流の様子を示したものです。ユーンナンスタディ、共に共有するというシェアリングのツアーで、昨年遂行された時の様子を写真に収めたものです。

こちらの写真は、蘭州のスタディシェア

リングツアーで、昨年行われました。

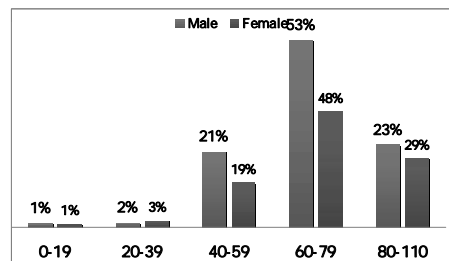
China and Oversea Liaison: Lan Zhou Study and Sharing Tour



こちらはオストメイトの男女比を示したものです。会員の男女比率を示しています。男性が 57%、女性が 43%という男女比になっています。会員総数はおおよそ 2005 人であります。

こちらは年齢分布を見たものです。会員の年齢の分布です。大多数の会員が 60 歳代から 79 歳というこの右から 2 つ目の年齢分布のところに該当しております。

Age distribution of members:



男性会員のオストミーのタイプは大多数がコロロであります。81%の会員がコロストミー、そして17%がウロストミーという比率であります。女性会員は92%がコロストミー、そしてウロストミーが7%という内訳になっています。

香港のオストメイトの方のQOL、生活

の質は高く、いったんストーマを受け入れそれに慣れますと、良い生活をおくることができます。普通の生活、社会生活に戻り、仕事も続けることが可能です。これは、私共の会員がいろいろな活動に参加している様子を写真に収めたものです。

Quality of Life for Hong Kong Ostomates



将来の課題について述べます。2009年というのは、私共の協会にとって30周年を迎える記念の年となります。私共はまずこの機会に、大腸癌の数が増えていると、しかも急成長しているということに注目します。

従いまして、広州教育プログラムを実行してこの点を啓発していきます。つまり広州におけるこの大腸癌についての認知度を

上げていこう、啓発活動をしていこうと思っています。スローガンを実行いたします。また展示なども行います。様々な公的な場所を使って展示を行って啓発活動を行います。スローガンをたててです。

また他の諸団体と協力して様々な活動と一緒にやっていきます。学校とか社会サービスを提供している組織と協力をしていきます。

2009年、この協会創設から30周年を迎えて、私たちはパートナーを募っております。その中には学校や病院や社会サービス関連の諸団体、そしてこのストーマの装具メーカー等であります。これらのパートナーと一緒にこのストーマ協会の30周年の誕生日をお祝いしていきたいと思っています。記念の様々な活動を計画しています。例えばヘルストークでありますとか、健康に関する検診を行うカーニバルとかです。これらの活動を通じてストーマ患者の存在に関する関心を高くしていく、またオストメイトの生活の質を高めていくということを遂行していきます。是非皆さんにもご参加を募りたいと思います。ありがとうございました。



香港から出席のMr. Yio Chi KinさんとMs. Jacky Lamさん